

2015年
 3月


今井さんのキーボードの音に合わせて合唱する子どもたち！（カンボジア孤児院）

皆さまの御支援、いつもありがとうございます。

先日、私共の理事を数名含めたチームがカンボジアへ行ってきましたが、その際、「SEKAI NO OWEARI」様よりお預かりした動画メッセージを孤児院の子供たちに見せました。子供たちは大変喜び、また日本の有名ミュージシャングループが、自分たちのことを覚え、関心を持っていることに、大変励まされたようでした。カンボジア孤児院の状況は、手狭になってきていることは、既に皆さまにお伝えしているところですが、別棟を借りての規模拡大等、具体的な対応を考えております。また、現在、大学を卒業しなければ就職出来ない（大卒が最低条件）だそうで、子供たちを進学させるための費用等も必要となってきています。もちろん、必要はカンボジアの孤児院ばかりでなく、ザンビアやフィリピンでも同様です。多くの御支援を頂きながら、さらに御支援をお願いするのは甚だ恐縮ではありますが、子供たちの為に、これからも是非、皆さまの御支援、御協力をお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きのための皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。今年1月初旬まで久しぶりの一時帰国の間に、孤児院の働きをご支援して下さっている皆様とお会い出来たばかりか、どのような必要があるのかを具体的に教えてほしいとさらなるご支援を申し出てくださり、心から感謝しております。再びカンボジアに戻り、日本からお送り下さいました皆様からのご支援の品々（衣類やバック、遊具、靴など）も無事に届いています。ご支援を、ほんとうにありがとうございます。昨年10月から来て下さっていた今井さんは、4ヶ月間の滞在を終えて1月下旬、無事に帰国されました。



ポーズをとる子どもたち今井さん！

留守の間も、子ども達の怪我や病気が続いたり、現地スタッフ達はクメール語がほとんどという状況の中で、英語と共にクメール語もドンドン話して現地対応に徹して下さいました。必要な助けを頂いて、ほんとうに感謝するばかりでした。子ども達は、特に12年生（高校3年生）4人がこれからの進路を具体的に決める必要がありますが、皆様からの継続したご支援とご協力を頂ければ幸いです。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様の尊いご支援をいつもありがとうございます。2014年～2015年の学期には、皆様のご支援により、34名が学校へ通うことが出来ました。今年度は15名が卒業します。その内11名が高校卒業、5名が小学校を卒業します。これにともなって、卒業記念アルバム、記念品、卒業式に着るガウンのレンタル料、その他卒業式の経費を合わせて、734.92ドル、また、34名の子どもたちの授業料、研究費など986.36ドルを2月中に支払う必要があります。皆様のご協力とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。皆様の助けなしにはこの働きを続けて行くことは出来ません。フィリピンの恵まれない子どもたちに良い教育を受ける機会を与え続けることが出来るようにと強く願っています。皆様の引き続きのご支援を心からお願ひ申し上げます。



学校でパーティーを楽しむ子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ（お元気ですか）？皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。皆様のご協力によって、井戸をさらに深く掘り下げていくための費用が満たされました！心から感謝申し上げます。カセンガは元々水が見つかりにくい地域ですので、失敗のないように慎重に準備を進めているところです。今回の雨季は、大変な水不足で苦しみましたが、子どもたちも文句を言うこともなく、よく耐えて、協力してくれました。次号のニュースレターで、良いニュースを報告させて頂く予定です。また、孤児院車両に様々な故障が起こり始めています。ザンビアでは



衣類を近所の子どもたちにプレゼントしている桜子さん！

正規の教育を受けた整備士が圧倒的に少ないため、直せば直すほど、他の部分の故障が出てくるといのが、実情です。現在まで、一台の車両で、カセンガ第一孤児院とルサカ第二孤児院の働きを担ってきましたので、相当酷使してきましたし、不自由も感じています。近い将来の事も考え、最低もう一台、車両を必要としていますので、そのための費用（約240万円）へのご支援も、引き続きよろしくお願ひいたします。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。今年はかなり多雨で涼しく、そろそろ夏も終わろうとしています。以前知り合った方で、児童養護



アンジェリカさん(右)と松本スタッフ！

施設の働きをやりたいと大学でカウンセリングの勉強をされた方に、グアラペスのスーパーでばったり会いました。結婚して子供もでき、今はかなり家の仕事に専念しておられる様子でした。彼女は州政府の社会福祉関係の機関に勤めたこともあって、貴重な情報をくださいました。私たちの働きに関しても、政府機関にも顔を出しておいたほうがよいとアドバイスをしてくださり、今後彼女の紹介でご挨拶に行く予定です。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>